

運動を好きと捉え、日常的に体を動かそうとする生徒の育成

テーマ	日常的に体を動かそうとする		
全校生徒数	303名(男子159名 女子144名)		
全クラス数	10	教職員数	24名(内体育科2名)
体育推進教員名			岩下 太郎

大分県別府市立山の手中学校

Plan：取組時の課題と計画

1 取組時の課題

- ◆50m走の平均値が男女とも県平均を下回っている。
- ◆低体力層の生徒の割合が自校昨年度比較で増加傾向にある。

2 取組の計画

- ①コロナ禍の保健体育授業のあり方について共通理解
- ②走力を向上させる授業づくり
- ③生徒会との連携

Do：実践内容

1 授業での取り組み

(1) コロナ禍の授業について共通理解

最初の授業でコロナウイルス感染防止対策について学習し、授業の行い方について共通理解を図った。

(2) 走能力向上を目指した授業づくり

コロナ禍で制限がある中で、陸上競技を扱い、走能力向上を目指した授業づくりを行った。

(3) ICTの活用による工夫

自分の動きが振り返られるように、撮影した動画をプロジェクターで投影し、各自確認できるようにした。また、模範演技を動画で繰り返し見せた。

(4) 自分の伸びを実感させる工夫

50m走の計測を6月と7月に実施し、初期値からの伸びを実感できるようにした。

2 生徒会との連携

(1) 体育的行事での生徒会活動と連携

コロナ禍での体育大会実施に向け、生徒会と連携して、実施種目、実施方法等検討した。生徒会のリーダーが主体的に行動できるように仕組んだ。

(2) 昼休みの活動の場を設定

昼休みに、生徒会の運営でボールの貸し出しを行い、グラウンドで遊べるようにしている。また、50m走のレーンを活用できるような場所に設置した。

●工夫したこと (&苦勞した点)

- ①コロナ禍でできることとできないことを明確化し、制限がある中でも充実した授業にするため、生徒との合意形成を図る授業を設定した。
- ②ICT支援員のサポートを受けながら、映像を多用し、模範演技と自分の動きが比較しやすい環境をつくった。
- ③体育大会の運営について、生徒会役員や保体委員会と事前に打ち合わせを行い、合意形成を図った。

- ④体育的行事では体育科教員だけでなく、全職員で役割を分担し取り組めるよう職員会議の場で提案した。
- ⑤昼休みの遊びの道具を補充し、生徒が遊びやすい環境を整えた。
- ⑥走能力向上のために用いるミニハードルを購入した。
- ⑦体育館でできる内容とグラウンドでできる内容を準備し、単クラスで密を避けて授業を実施した。
- ⑧体育科2名が、担当クラス制ではなく、それぞれの指導内容ごとに担当クラスを変えながら実施し、両教員が全生徒とかわかれる状況を作った。
- ⑨年度当初生徒が登校できない時期に、体育科で授業構想を練る時間が取れた。

Check：取組の成果

- ① 毎日の授業で、走ることが苦手な生徒から「走り方がわかってきた」という感想が増え、授業に活気がでた。
- ② 早く走れている実感を持つ生徒が増え、運動の楽しさや喜びを味わえた生徒が多かった。
- ③ 走能力の向上によって、部活パフォーマンスの向上に実感を持つ生徒が増え、部活動に活気が出た。
- ④ 生徒の自主的な運営を企画することが増え、仲間と共に運動を楽しむ姿が見られるようになった。体育大会を通して、絆が深まった。

Action：今後の課題

- ① コロナ禍での体育科の授業実践、地域等との連携については今後も課題が大きい。
- ② 来年度統合され、施設等が一新されるため、これまでとは異なる環境下になり、様々な変化に対応する必要がある。
- ③ 低体力層における活動量の向上と運動の習慣化をどのように図っていくかは課題が大きい。
- ④ 体力向上の取組、どのように効率よく実践していくか、課題が大きい。

◎体力向上の取組がもたらす波及効果

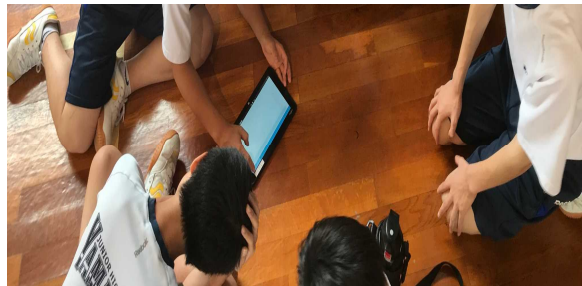
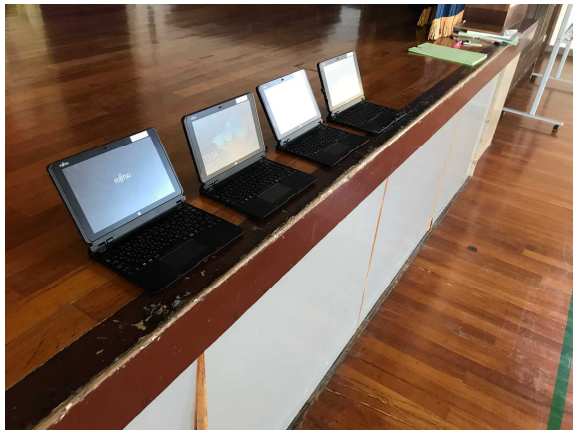
コロナ禍で身体接触を伴わない種目制限があり、走能力向上に特化した授業実践によって、走能力が向上した。その結果、走ることが好き、自分に自信が持てる生徒が増えた。また、生徒会と連携を深めることで、学校全体が活気づいた。



記録カード・ホワイトボードの利用



熱中症・コロナウイルス対策



ICT の活用 走りのフォームをチェック



走りのフォームを改善する練習の様子（歩幅、高さが異なるミニハードルやコーンの設置）

R2年6月初め			R2年7月下旬		伸び	県平均値	
1年	Ave	8.79	Ave	8.55	-0.24	1年男県R1	8.6
	男Ave	8.55	男Ave	8.35	-0.20		
	女Ave	9.06	女Ave	8.77	-0.29	1年女県R1	9.0
2年	Ave	8.72	Ave	8.42	-0.30	2年男県R1	7.9
	男Ave	8.30	男Ave	8.01	-0.29		
	女Ave	9.23	女Ave	8.80	-0.43	2年女県R1	8.7
3年	Ave	8.46	Ave	8.16	-0.30	3年男県R1	7.5
	男Ave	7.94	男Ave	7.44	-0.50		
	女Ave	9.08	女Ave	8.94	-0.14	3年女県R1	8.7